



JA兵庫みらい
営農経済部 あぐり創生課
TEL 0790-47-1282
FAX 0790-47-1674

2025. 4月号

園芸

【野菜作りは土づくりから始めましょう】

作物の生育に必要な条件として、「光・空気・水・温度・養分・有害因子が無いこと」の6つの要因が挙げられます。そのうち土壌は光を除く全ての要素に多く関与しています。

作物にとって「良い土壌」＝水・空気・養分を適度に保持し、根の生育環境を適正に維持する機能を有するもので、外部から加えられる変化を和らげる、緩衝機能に優れていると考えられています。このことをふまえて、畑作りを行う時は水はけと水持ち、肥持ちの良い圃場が理想です。特に注意していただきたいのが排水性で、雨が降った後も2～3日以上、圃場に雨が溜まって残るような場所は、圃場選定を見直してみましょう。

【土壌酸度の調整】

4月下旬から夏野菜（トマト・キュウリ・なす・ピーマン・オクラ）を植え付けるときには、JAがおすすめしている有機石灰資材「セルカ」を散布してください。日本の土質は降雨等の影響によって酸性の土が多いと言われています。酸性が強すぎる土は野菜にとって良い土壌とはいえませんが、石灰資材を投入して目的の作物に応じた酸度の調整を行います。

【肥料について】

肥料の袋を見てみると「10-6-10」や「15-10-10」と記載されているものがあります。これは肥料の成分が袋当たりどれくらい含まれているかということです。左から「窒素成分」、真ん中が「リン酸成分」、右が「カリ成分」の順番で記載され、それぞれ含まれる成分が％で表示されています。例えば20kg入りの肥料で「15-10-10」なら窒素成分は15％（3kg）含まれていることになります。

- ・窒素・・・「葉肥」とも呼ばれるように、茎葉の生育を早めます。
- ・リン酸・・・「根肥」、「実肥」とも呼ばれ、根の発育や果菜類の花付き、着果を良くします。
- ・カリ・・・光不足の時に多く与えると、光合成の働きを回復することができ、丈夫な茎や葉を作ります。



果菜ゴールデン有機

- 速攻性と緩効性の両面を兼ねそなえています
- 有機質の効果により地力増強
- 粒状なので施肥しやすく撒きむらも防げます
- 「10-6-10」



JA園芸化成S500

- 吸収がすばやく効きめがはやい
- 低温など悪条件下でもよく吸われます
- 連作しても土をあらしません
- 「15-10-10」



セルカ

- カキガラから作ったミネラルたっぷりの有機石灰
- 散布後すぐ植え付け可能です
- 発根分岐の促進
- 肥料効果の助長

【苗の購入について】

苗の販売は4月中下旬から各地区展示会・グリーン店舗にて取り扱いします。植え付けは5月のゴールデンウィークをめどに行いましょう。あまり早く植えると寒さで弱ってしまう可能性もあります。植え付けを開始したら、十分な水を与えてください。また、風で倒れないように支柱をしましょう。

水稲

【水稻種子の浸種方法と育苗について】

【JA購入消毒済み種子の浸種方法】

【浸種時の水量】

- ・消毒済みですので浸種から作業をおこなってください。
- ・水量は種子量（kg）×4倍の水量（ℓ）で、ネットに詰めすぎないように注意しましょう。（浸種の例：種子10kgに対し水40ℓ）※先に種もみを入れると入水時に薬剤がとれる恐れがあります。

【浸種条件】

- ・浸種する場所は直射日光の当たらない場所を選びましょう。
- ・浸種は必ず停滞水で行い、水温は15℃以上（温度計で水温を確認しながら）とし、積算温度（温度×日数）100℃を目安に肉眼で確認しながら催芽します。気温が高いと水温も高くなるので、暖かい日が続く場合は注意してください。（例：水温15℃×約7日で積算温度105℃となります。）※水温が低すぎると薬の効果が落ちる場合があるので気を付けてください。一日に3回程度温度を確認しましょう。

【水の交換方法】

- ・48時間（2日間）たったら種もみを水からゆっくり引き上げ、容器の水を入れ替えた後に、再び種もみを静かに浸水してください。その後は、酸素不足によってもみの発芽率が悪くなる恐れがありますので、毎日水を交換しましょう。

【水切り】

- ・根の先端が1ミリ程度出たハト胸状態を確認できたら、もみ袋を積み重ねないように横置きにして、時々反転させながら半日程度陰干しを行い、水切りをします。
- ※気温が高いときに水切りが悪いと、もみが蒸れて腐敗することがあります。乾きが悪い時は扇風機を使う等工夫をしてください。

種子は全量種子更新を行い、消毒済みの物を使用してください。JAへの出荷やJAの施設（カントリーエレベーターやライスセンター）を利用される方は、必ず銘柄が確認できた種子を使用しましょう。

【播種】（1箱当たり）

- ・うるち米…160グラム（催芽粳）
- ・山田錦…130グラム（催芽粳）

【育苗】

播種後は水平地に育苗箱を並べ、十分にかん水します。

●太陽シートによる育苗方法

- ・太陽シートの反射側を表面にしてベタ掛けし、十分に密閉して出芽と緑化させます。
- ・播種後7～10日程度で出芽長が1～1.5センチになれば、シートを取り除きます。夜間、低温が予想される場合は、ビニールを掛けるなど保温対策を行いましょう。

・降雨後にシートの上に雨水がたまった場合は、ほうきなどで掃きとってください。水がたまった場所は温度が上がらず生育が遅れ、不ぞろいの苗になる原因となります。

●シルバーポリによる育苗方法

- ・文字が書いてある側を表面にして被覆し、十分に密閉して出芽と緑化をさせます。
 - ・播種10日程度で出芽長が2～3センチぐらいになれば、シートを取り除きます。
- ※太陽シートとシルバーポリのいずれも、除去まではかん水の必要はありません。

●水管理・・・緑化期は、早朝はしっかりかん水を行

いましょう。夕方は、葉先に水玉が一斉についていればかん水の必要はありません。夕方のかん水は徒長苗になりやすいので気を付けてください。

- ・硬化期以降の管理は朝にかん水し、夕方には土が乾いている程度でおこないます。

●追肥

1回目は播種15～20日後、2回目は25～30日後におこないます。（トミー液肥300倍に薄め、1箱あたり500ml散布）※日中の高温時は避け、散布直後に水で軽く流してください。

グリーン かさい 春の総合展示会

4月18日(金) 9:00～15:00

4月19日(土) 9:00～14:00

グリーン みき 春の苗フェア

4月25日(金) 9:00～15:00

4月26日(土) 9:00～14:00

グリーン おの 春のみらい市

4月25日(金) 9:00～15:00

4月26日(土) 9:00～14:00

問 い 合 わ せ 先

加西営農生活センター

TEL0790-47-1286

三木営農生活センター

TEL0794-82-6150

小野営農生活センター

TEL0794-63-6905